

会議録

令和3年第1回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

令和3年3月23日開議

令和3年第1回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録

1. 召集日時 令和3年3月23日（火） 午後2時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター 会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則、委員 佐山富夫、委員 半沢芳典、
委員 阿部 誠、委員 鈴木仁一
4. 欠席委員 なし
5. 説明のため出席した者
教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章、
仙南芸術文化センター館長 玉渕博之、
仙南芸術文化センター主幹兼企画係長 山家史弘、
仙南芸術文化センター総務係長 渡部勇造、
教育係長兼文化振興係長 佐々木洋佑、
主査 山田純土、主事 若林あい子、主事 三ツ澤音々
6. 開 会 午後2時

7. 令和2年第4回教育委員会定例会、令和3年第1回教育委員会臨時会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、阿部 誠委員にお願いいたします。
阿部 委員	はい。

9. 報 告

報告第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、令和3年2月25日、当組合第251回議会定例会において、半沢芳典白石市教育委員会教育長を任命することに同意を得たことを資料1のとおりご報告申し上げます。なお、半沢委員の任期は令和3年2月25日から前任委員の残任期間ということで、令和4年3月31日までである。

(挨拶)	
半 沢 委 員	白石市教育委員会の半沢でございます。微力ではありますが、この仙南広域の事業等について、最大限努力して参りたいと思いますので、今後ともよろしく願います。

報告第2号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、令和3年2月25日、当組合第251回議会定例会において、阿部 誠七ヶ宿町教育委員会教育長を任命することに同意を得たことを資料2のとおりご報告申し上げます。なお、阿部委員の任期は令和3年4月1日から令和7年3月31日までである。

(挨拶)	
阿部委員	2期目も、1期目以上に努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報告第3号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長の任命について、令和3年2月25日、当組合第251回議会定例会において、船迫邦則柴田町教育委員会教育長を任命することに同意を得たことを資料3のとおりご報告申し上げます。なお、船迫教育長の任期は令和3年5月27日から令和6年5月26日までである。

(挨拶)	
船迫教育長	委員の皆さま、事務局の皆さまに支えられながら、大役を果たして行ければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報告第4号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の子な事業等の経過について

別紙(資料4)にて、教育委員会事業については佐々木係長、仙南芸術文化センター事業については若林主事よりご報告申し上げます(報告後、事業の様子をまとめた映像をご覧いただいた)。

(質疑)	
阿部委員	今回のコロナ禍の中で、AZ9ジュニア・アクターズの公演、日程が例年よりだいぶ減ったと思いますが、よくここまで仕上げたんだなと思いました。感心しました。今、映像を見てですね、保護者の方とかスタッフの方が裏方でだいぶ協力してくれているんだ、その伝手もあるんだと感じました。13日の土曜日に私、見に来たんですけども、あの日の夜でしたかね、地震は。次の日に色々影響があったんじゃないかと思うんですが、そのあたりはどうでしたでしょうか。
船迫教育長	そのあたりについて事務局、お話しいただければ。
加藤教育次長	初日が無事公演を終えて、明日いよいよ楽日ということで、子どもたちについては早い時間帯に帰って、明日に備えて寝るよという状況でした。ですが、ご承知のとおり、夜にあのような大きい地震が起きまして、館長と私と渡部の3人が出てきて、現場確認をいたしました。その際には電気設備の一部不具合、それから電話の不具合、暖房設備が動かなくなる等、色々出て参りました。ステージに関しては、外観をざっとチェックした限りでは問題なかったんですけども、翌朝、照明関係は全部上から吊られているものですから、全て照明の監督が確認を行ったところ、照明は一からやり直した、ということになりました。いつも午前中は、少しダメ出しをしたりしながら稽古を行うのですが、ステージ上はほぼほぼ照明のやり直しをやっている状況で、設備等で止まったものについては、本施設のメンテナンスをお願いしている業者さんの協力もいただいて、他にも同様に被害を受けている施設はたくさんあったわけですけども、こちらは公演があるということで(優先的に)ご協力いただき、本番までには全て復旧できたという形でした。一番は、お客さんが入っている状況であのような地震が起きなかったのが不幸中の幸いだったなどは考えておりますけども、無事、公演の方には影響をさせずに終えることができました。
船迫教育長	はい、夜の11時過ぎでしたかね。点検等色々ご苦労様でした。他ございますか。はい、鈴木委員。
鈴木委員	限られた練習期間の中で、子どもたちは精一杯練習に取り組んで、自信を持って

	発表できたのかなという印象を持ちました。それから実際に、私は村田町なので、子どもたちが6～7人、アクターズに所属していたものですから、見ていたのですが、卒業式等の呼名された時の発表の仕方であったり、あるいは姿勢であったり、そういう所で他の子たちとは違う面があるな、と肌で感じました。あと、今実際に映像で見せていただいて、下支えしてくださっている方々に対する子どもたちの想い、気持ちというものが、これからの子どもたちの将来に必ずや生きてくるのではないかという感じで、見させていただきました。
船迫教育長	子どもたちの自己有用感につながっているということが、卒業式からもうかがえたということでした。それでは、半沢委員。
半沢委員	私も当日鑑賞させていただきましたけども、どの子もみんな生き活きと輝いていたということが印象的でした。今、教育長さんからもお話ありましたが、自分以外の人たちに感動を与える行為は恐らく、子どもたちの自己有用感を大きく育てていくんだらうと思っておりますし、あと記録として、基本的に僕らはステージしか見ることができませんけども、保護者の方々の献身的な努力というものも子どもたちにとって必ずプラスになるだらうと。自分たちを支えてくれた人に対する感謝の気持ちが育っていくのかなと思っております。本当に素晴らしいなと思っております。
船迫教育長	ありがとうございます。では、佐山委員。
佐山委員	今回初めて裏方の方を見せていただいて、色んな意味で感動を受けました。子どもたちは前から見ていて素晴らしいなと思っておりましたが、親の方々も、支援のあり方というのが、こういうのがあるのかと初めて分かりました。ありがとうございます。
船迫教育長	繋がりに役立っていると。やがてこのように素晴らしいものが、どのように持続・継続していくかというのが話題になってくるかと思っておりますので、その時にも、お知恵を拝借ということでお願いしたいなと思っております。

報告第5号 令和2年度仙南ふるさとC-Mグランプリ（第43回仙南地域自作視聴覚教材発表会）の結果について

資料5にて、佐々木係長よりご報告申し上げます。

（ 質 疑 ） <質疑なし>

報告第6号 AZ9ジュニア・アクターズ第28回公演の結果について

資料6にて、佐々木係長よりご報告申し上げます。

（ 質 疑 ） <質疑なし>

報告第7号 令和3年度仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計当初予算について

別紙（資料7）にて、三ツ澤主事よりご報告申し上げます。

（ 質 疑 ） <質疑なし>

報告第8号 令和3年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算について

別紙（資料8）にて、渡部係長よりご報告申し上げます。

（ 質 疑 ） <質疑なし>

10. 議 事

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター条例施行規則の一部を改正する規則について

別紙（資料9）にて、山家主幹よりご説明申し上げる。

(質 疑)	
半 沢 委 員	第二条の使用料 2,500 円から 3,000 円にする点ですが、この主な理由を教えてください。
船迫教育長	はい、事務局お願いします。
山 家 主 幹	主な理由でございますが、実は本年度から、予算の方でもたびたび出てきているのですが、大ホールの維持補修計画というものを基に工事を行っております。工事の方は終了しておりますが、大ホールの音響設備に関しましては、現在アナログ方式になっているのですが、デジタル方式に変わったところでありまして。具体的には、音源は直接電子データ、パソコンを繋いだり USB を繋いだりということで機能が向上していることと、iPad 等を利用して遠隔操作ができるというもの、スピーカーがデジタル音響になりまして、クリアな音声になっているというのをごさいます、それらの向上分を 500 円の値上げということで今回お願いしているところでございます。
玉 渕 館 長	少々補足を。もう一つ、MD、CD に関しては、元々デッキが別々になっておりまして、500 円という設定になってございます。こういった部類のものがデジタル化という形になりますと、先ほど山家の方から説明がありました USB 等で繋いでしまうと、プレイヤー分というのが収入として見込めないことになります。よって、そういった部分をセットとしての利用ということになりますので、それを見込んだ数字ということで考えております。
船迫教育長	はい、よろしいでしょうか。半沢委員。
半 沢 委 員	実は、11月1日施行ということなんですけども、利用する方に、上げ幅が 20% ですよ。このご時勢において、2割一気に上げるということを利用者の方に十分に説明しないと、なかなかやはり、僕らも日々体験をするんですけども、やはりたかが 500 円、されど 500 円なので、ここを是非、ご利用の方々には十分にご理解いただけるよう、お願いをしたいなと思っております。
船迫教育長	今の点についてお願いいたします。
玉 渕 館 長	そのようにしたいと思っております。そして、懇切丁寧に CD、MD をご利用いただいた方については 500 円という設定と合わせて 3,000 円だったものが、一括で 3,000 円になりますということ。利用料金については実質値上げという形になっておりますけども、全体を考えるとそうではないという点もきちんと説明し、ご理解いただけるように進めていきたいと思っております。
船迫教育長	はい。ほかに、質問、異議はございませんか。それでは先ほどの説明の方をきちんとさせていただくという点、よろしくご説明いたします。原案のとおり改正することとします。

11. 協 議

(1) 次回教育委員会定例会の日程について

山田主査より、資料10にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
船迫教育長	令和3年5月26日(水)午後2時から、次回の定例会を開催いたします。

(2) AZ9ジュニア・アクターズ事業の継続について

加藤教育次長より別紙(資料11)にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
船迫教育長	自分たち教育長レベルでは理解できていることであっても、これを進めていくのにそれぞれの生涯学習課の課長さんが集まる会議があると。そこに参加する課長さんが、教育長とどういった情報交換をして臨むかということで向きが違ってくるということにもなりますので、是非ご理解いただいて、今日の会議の経過を報告する際に、AZ9のところに触れた時には、教育長さん方から「これは凄く良いんだ」というニュアンスの感想も先ほどいただいておりますから、それが課長にも伝わって、課長会議の場で煮詰められ、首長会議に繋いでいくという形に持って行かなくてはなりませんので、課長さんたちにお話しする際に、今日出た資料以外で欲しい資料等あれば。また今日出された資料について、「こうした方が良いのでは」という点があればお話しいただければと思います。
半 沢 委 員	今日の資料の中には無いんですけども、教えていただきたいことがあります。先ほど1年間の運営が約500万円という話で、500万にするか基金を返さないでという2案があると。お伺いしたいのは、団員の方の保護者の負担、いわゆる受益者負担と言われるものの観点からすると、例えば運営1年間に1,000万円かかるとし、そのうちの500万は公的な部分で、残りの500万はざっと数字を出せませんか。受益者負担の分は。
加藤教育次長	このAZ9ジュニア・アクターズ事業は、もともと地域の将来の文化活動を担う人材の育成を目的にスタートを切った経緯もございます、これまでのところ受益者負担というか、いわゆる養成費用は求めてはおりません。ただし、実際には子どもたちが活動していく中で、3時の休憩時間におやつを食べたりだとか、そういったものに関しては全て公費からというわけではなく、それぞれご負担いただくということで、月額数千円程度の金額は保護者の方々にご負担いただいております。こういったものに関しまして、いわゆる一般的な習い事というレベルでの費用を求めることが、どのくらいできるのかということが正直我々の中でも非常に悩ましいところではございます。
半 沢 委 員	なぜこの話を出したかと言いますとですね、先ほど冒頭のところでの意義、私も先ほど感想でも申し上げましたが、できれば残して継続していくべきだという考えがあるということをお前提として申し上げますとですね、これは本市だけかもしれませんが、財政がかなり厳しいと。その中で、毎年500万をどういう負担割合で、仮に2案ではなく1案で行った場合に、25%均等割、75%人口割という数字が出てきた場合に、これを毎年見直しなりを行っていくとなると、今後上げなくてはならないかもしれない。物価の問題があるので必ずしも500万で10~15年先もやれるかという、それは厳しいと。先ほどの、スポーツについては色々あるけれども、基本的にスポーツ少年団等については用具であったり遠征であったりというのは受益者負担なんです。つまり保護者が一定程度、うちの市に関してはスポーツ少年団に対しては活動費を公費で入れているというのは基本的には無いと。そこでのバランスを考えて、首長等に理解をしてもらうためには、やはりこ

	<p>の辺というのは、これまでは、あったお金を使っているからさほど問題にはならないけれども、これから新しく出してください、ということになった場合、例えばうちの市の場合、参加している割合から、これは批判的に言っているのではなく、ご工夫された方が良いということと言うと、「うちよりも多く参加している町の方が負担金が少ないじゃないか」という議論が必ず起こると。それを踏まえてデータを出さないと、非常に財政、市長部局には理解されづらいと。どうしたって、地理的な条件があるわけですよ、2市7町でやっているとしても。これは七ヶ宿さんのことを僕は言う立場にないけれども、これは単に人口比の問題ではなくて、えずこや総合庁舎との距離の問題だとかを当然考慮しなければならない。そうやってきた時に、先ほどの負担割合だと人口比で行ってしまおうということだと、なかなか難しい。当市のホワイトキューブでは一定程度財団が似たような形でやっている。劇団そのものは無いですが、そういうところとの絡みの問題だとかは、残すにしても慎重に考えて行かないといけませんね。文化は大事、それは確かにその通りだと。スポーツだけではなく文化も、それはその通りだと思います。しかしながら負担はどうかという問題とか、拠出割合が妥当なのかとか。なかなか非常にハードルが高い、特に財政は、と考えていました。</p>
玉 淵 館 長	<p>今、加藤次長の方から、参加者側のご負担が無いというお話があったんですが、実はえずこホール側は、財団の頃から公演事業ということで、予算を別枠で実行委員会に繰り入れさせていただき実施してきています。現状だと保護者からも参加費という形でいただいています。公演についてはいただいています。養成の部分についてはゼロということになります。</p>
船迫教育長	<p>人口割というこの資料だけだと、課長会議でおそらく紛糾するのではないかと、なにか工夫が必要ではないかという意見でしたので、そこはどう工夫できるか。課長会議で意義等を理解するには良いと思いますが、ではどうやって負担していくのと言った時に、この負担割合だけではなかなか難しいのかなと。うちでは器を持っているし、うちでは遠いし、というような半沢委員から挙げたことが出てくるのではないかと。そういったところをうまくクリアするような割合を作れるかという。</p> <p>これまでも話題にしてきたように、アウトリーチでどのくらい恩恵を受けているか等の方が、ある意味では負担してもらうのに良いデータかなということも言っていたので、要検討ですかね。財政が厳しいというのは、白石市さんだけでなく多分各自自治体抱えていると思うので、その辺を課長さんたちが、我々が望む方向で話を整理してくれるような割合というのを考えて行きましょう。貴重なご意見ありがとうございました。その他ございますか。スケジュール等は大体この通り。あとは課長さんたちの会議ということで、今後の教育長会議の際、教育事務所会議が終了後、部屋を借りて教育長のみで情報交換する場もありますので、そういった場に入っていただいて、(仙南の)教育長はあと4名おりますので、その方々にもこういった実情を知っていただいて、スタートしていかなければならないと思いますので、そういったところも加藤次長さんと日程を調整していきたいと思います。</p>
佐 山 委 員	<p>教育の面から見て、これだけの集団が長期間に渡って一緒にいるということは子ども間のトラブルはこれまで無かったのか、あるいは防止策をこのような形でとってるんだというような配慮があったのか、その辺はどうでしたでしょうか。</p>

若林主事	<p>実際のところ、トラブルはよくあります。やはり人が集まっている場ですので、多かれ少なかれあります。子どもたちのトラブルについては親御さん経由で入る場合と、直接その場において見て分かるパターンがあります。その場にいた場合は、教育方針が皆さんおありでしょうから、良い悪いあると思いますが、たまに会議をします。子どもたちがトラブルを起こすのはコミュニケーション不足、行き違いがあつてのことなので、時間関係なくとことん話してもらいます。先生たちは子どもたちの問題は子どもたちが解決するべきという養成の方針です。親御さんたちも「〇〇のお母さんはあまり来ないけども、うちはたくさん来ている」といったものでとか、色々あるんですが、うちのスタンスとしては、来れないからダメだということではないので、協力できる人が協力してほしいという言い方をしています。よくお茶を飲みながら話します。子どもたちは常時、我々職員がその場にいます。ただ親御さんはお当番の親御さんしかいませんので、その日様子はどうだったか話すようにしています。何ごともコミュニケーションだと思っています。今ですと、コロナ禍においての養成の仕方も親御さんからご意見をいただきます。密になっているのでは、とか。ただ、それは信頼関係だと思っているので、親御さんに対しては「家族なので」という言い方をしてしまっている部分があります。先ほどの映像の中でも、マスクを外してあんなに近くに寄つてと思われた方もいらっしゃったかと思いますが、それぞれがそれぞれの身を守るように、そして相手に感染させないためには自分がどうしたらいいか、日頃の気をつけ方も各々で凄く考えて、話し合つて日々のレッスンを受けてくれるようにしています。</p>
加藤教育次長	<p>実際に今年度もレッスンをやっている中で、「行きたくない」というような子どももいたんです。その時に、「最近〇〇ちゃん来てないけどどうしたの」と事務局に働きかけがあります。それに対して子どもたち自身が「〇〇ちゃんに手紙書いてみる」とか「電話してみる」とかアクションを起こしたり、それから、そういう状況になっているけど、どうしたらその子が来やすくなると思うか、ということ子どもたち自身で考えて、打ち合わせを自分たち自身で持ったりするようなどころまで来ているんですね。なので、それぞれ学校に行つて、学校で担任の先生にこう言われたからこうしなきゃいけない、ということではない自主性のようなものが、AZ9の中には要素としてあるのかなという印象は、毎回レッスンを見ていて思つてはおります。</p>
船迫教育長	<p>トラブルはあつても徹底的に話をさせるという対処法、そういった対処をして子どもたちの中で、何とか繋いでいこうという動きが起こつてきているとのことです。佐山委員よろしいですか。</p>
佐山委員	<p>なにか、今後の学校のあり方すら、考えさせられるようです。</p>
船迫教育長	<p>このペーパーについて、他になにかアイデアなりいただけるとありがたいのですが、500万の事業費の内訳については事務局どうですか。</p>
加藤教育次長	<p>まず一つの演劇を作る場合に、子どもたちの直接の養成にかかる費用がございまず。それから公演としてやるということであれば、衣装を作る、舞台セットを作る、それから当然こういう公演があるというチラシを作つたりですとか、そのポスターを作つたり広報宣伝をしなければならぬということ、こういったものの蓄積が大きいところ、一番は子どもたちに向き合つて、いかに質の良い体験をしていただけるかという部分でございまずので、費用についてはやはり養</p>

	<p>成の部分大きいという形になります。例年40回のレッスンを経て公演に至っております。これを例えばもっと短期に縮めて、公演を仕上げるためだけであれば、恐らくできなくはないです。半分の20回でも公演に持ち込むことはできます。その中で先ほど佐山委員さんにお話いただいたように、トラブルがあったり、40回のレッスンの中でコミュニケーションを図ることを大事にしているがゆえに、そういったところが生じていないというのもあるのかなと思っておりますので、細かい数字は参考までにお出しすることはできますが、イメージとしては50万の中で3分の2以上を占めるのが養成に関する部分、そこを手厚くやるべきだということで、そういった予算上の組立にはなっております。</p>
船迫教育長	<p>その辺り、それぞれの市町で、教育長さんが課長さん方と話をするとき、ある意味で知っていないと、課長さんを納得させることは難しいところだと思いますので。</p>
佐山委員	<p>結局はこのAZ9の価値というものが、角田とか大河原とか、うちの方の子どもたちが出ているとかでなく、全ての市町の首長さんとか課長さんとか教育長さんとか、これは仙南の子どもたち全体のためになっているんだ、それが価値があるんだということをみんなが認識しなかったら、必ず最後、財政のところに行って、うちの町は参加者少ない等の話になってしまう。我々が啓発すべきことは、これが仙南の子どもたち全体のためにやっているんだということで、わざわざ角田の子どものためだけにやっているのではない、という啓発の形が必要なんだと思います。</p>
半沢委員	<p>おっしゃる通りだと思います。しかしながら、現実行政を進めていくにあたっては、意義は佐山委員のおっしゃる通りだと私も思っていますが、趣旨が良いから全てやれるかと言ったら、実際はそうではないので、どう見せていくかというのは、やはり説明資料として必要なんだと思いますね。</p>
船迫教育長	<p>両方の面で課長さんに伝える、意義の面と、だからお金が必要なんだということ。お金については、こういう負担割合で工夫するんだ、というところまで教育長さんサイドで持っていれば強いかなと思いますので。</p>
加藤教育次長	<p>両方の側面から、財政的な観点から見ても教育の意義から見ても、これなら納得できるという資料の提示の仕方ができないか考えてみたいと思います。</p>
船迫教育長	<p>前回も、舞台施設等を直すということについて2市7町の課長さんが集まって、前向きにスタートするという難しいことを事務局の皆さんの努力によって、話し合いの場を持つことができたという実績もありますので、何とかみんなで知恵を出し合って、この課題を乗り越えられるように頑張っていければなと思います。ご協力方よろしく願いいたします。</p>
阿部委員	<p>教育担当課長と財政課長と一緒に集まって会議するような形になりますか。</p>
加藤教育次長	<p>まず、流れとして事業の継続の判断に関しては教育主管課長と広域行政関係の主管課長さんになるのかなと思います。それで継続の方向で検討を進めるというお話をいただくことになりましたら、それに関して実際に財政的にどのようなものがあるのかということで財政課長さんにも入っていただくということになるかなと今のところ考えております。</p>
船迫教育長	<p>必要になれば、また各市町回ってということも出てくるかと思っておりますので、その際は各教育長さんがサポートいただければと思います。</p>

12. その他

(1) 4月1日付けの人事異動について

加藤教育次長よりご説明申し上げます。その後、異動対象者の渡部係長、挨拶。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

13. 閉 会 午後4時40分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和3年3月23日

教 育 長

署名委員